

【日経 TEST 企業・団体試験 Web 受験 受験にあたっての注意事項】

公正な試験を行い、不正を防止するため、受験中は、常時監視を行います。また、試験監督官の判断により、予告なく録画・録音を行う場合があります。受験中に不正行為を行ったことが判明した場合、或いは、不正と疑わしい行為が判明した場合は失格（もしくは受験中止）となります。なお、録画された動画を受験中の不正行為防止や今後のサービス改善のための参考にする以外に利用することは一切ありません。

なお、法人にて団体申込をする場合は、これらの注意事項および禁止事項について、あらかじめ受験者の同意を得ていることを前提とします。

- 受験の待機開始から受験終了までの間、試験監督官の指示に従って受験をしてください。注意事項・禁止事項ならびに試験監督官の指示に従わない場合は受験中止となります。また、不正行為が発覚した場合は、以後の受験をお断りする場合があります。
- 受験の待機開始から受験終了までの間、カメラに他の人が映りこまない、かつ、マイクに他の人の声が入らないように空間を確保してください。
 - ▶カメラに他の人が映りこんだ場合やマイクに他の人の声が入った場合は、失格となります。
 - ▶公園や飲食店など公共スペース、オープンスペースでは受験できません。
 - ▶プライバシー上、差支えのあるものは、映らない場所に移動してください。
- 利用環境に合致したインターネットに接続できるパソコンが必要です。必ず事前の動作確認を綿密に行い、受験環境を整えてください。
 - ▶受験システム(Excert)以外のアプリケーション、プログラム、ソフトウェアを起動することはできません。
 - ▶試験を途中で誤って終了、ブラウザを閉じる、電源が切れるなどで切断した場合はその時点で試験終了となり、再受験・再開はできません。
 - ▶受験者の通信設備、パソコン等の事情による通信障害や機材トラブル、指定環境以外の環境での受験、カメラやマイクの不具合、突然マウスが動かなくなる、画面が切り替わらないなど、機材や動作上のトラブルが発生した場合、その他本人の責により受験に不具合が生じた場合、返金・補償・再受験はできません。
 - ▶タッチパネル式のパソコンを使用する場合はディスプレイへのタッチ操作はせず、外付けマウス、トラックパッドもしくはキーボード内のポインター等を使用して解答してください。
 - ▶使用機器は、机の上などに設置してください。また受験者の周辺（机の上を含む）には、所定の持ち物や受験上の配慮申請で使用が許可された物以外のものが置かれていないようにしてください（デュアルディスプレイ、複数モニターは使用不可。なお、家財などの撤去は不要です）。
 - ▶受験中、ウェブカメラで動作や受験環境が適正か判断できるように、適切な照明を点灯してください。マイクはオンの状態にしてください。
 - ▶背景の加工（仮想背景等の利用）は禁止です。
- 受験の待機開始から受験終了までの間、試験監督官の指示に従って受験をしてください。適正な監視ができる環境をあらかじめ整えてください。
 - ▶受付時間は、予約した時間から 15 分以内となります。15 分を過ぎての受付、試験開始はできません（試験開始時刻から 15 分以上経過しても試験が開始されない場合は失格となります）。
 - ▶受験中はいかなる理由においても試験時間を延長する、一時的に止めることはできません。

- ▶ 受験中にカメラ角度や音声、パソコン画面の状態を試験監督官が音声で確認する場合があります。また受付とは別の試験監督官からお声がけして確認する場合があります。これらの確認に費やした時間は戻りません。
- ▶ 規定の本人確認用身分証を試験監督官に提示してください。事前に登録した情報と、ご提示いただいた本人確認書類の情報が一致しない場合、受験できません。氏名・生年月日・顔写真が確認できない場合は失格となります。身分証確認時、マスクやフェイスガードは取ってください。
本人確認用身分証明書として利用できるもの：①自動車運転免許証 ②運転経歴証明書 ③国際運転免許証（写真付き） ④パスポート ⑤クレジットカード（写真付き） ⑥マイナンバーカード（写真付き） ⑦在留カード ⑧特別永住証明書 ⑨社員証（写真付き） ⑩学生証（写真付き）のいずれか一つで本人を確認できるもの。
- ▶ 試験当日にログインできない、ログインするための情報がわからない、受験予定が表示されないなど事前確認を怠り、準備不足の場合は受験できません。
- ▶ 正常に監督できない状況下で、最後まで受験した場合、再受験をお願いすることがございます。
- ▶ 受験中は、問題文を読み上げるなどの音声を発することを禁止しています。
- ▶ 試験監督官からの警告が累計2回以上になった場合、その時点で失格となります。
- ▶ 通信が遅い、アップデートが最新になっていないなどで試験監督官とのコミュニケーションにタイムラグが発生し監視がスムーズに行えない場合は受験できません。

● 受験上の配慮が必要な方は事前に配慮申請をお願いします。

- ▶ ご病気などの止むを得ない事情により席を離れる必要がある場合、また、試験時間中に指定のお薬などを飲む必要がある場合は予め届け出てください。なお、これらの場合、診断書が必要になる場合があります。

● 受験料の返金、申込のキャンセルはできません。

- ▶ 全国一斉試験やテストセンター試験など他の試験への変更はできません。
- ▶ 同一人物が複数のアカウントを持ち、複数の申し込みをすることはできません。
- ▶ 受験者は、受験日に日本国内に居住している方に限ります。

● 次に掲げる事由が確認できた場合（事由の存在が疑われる行為が確認できた場合も含みます）は、失格となります。

< 禁止事項 >

① 本人以外による受験

- ・ 受験者本人以外が受験した場合
- ・ 規定の本人確認用身分証以外を提示した場合
- ・ マスクやフェイスガードなどで、本人の顔が確認できない場合
- ・ 画像が不鮮明・暗いなどで本人確認が出来ない場合
- ・ 受験登録者以外の者が受験した場合
- ・ 受験中、受験者が入れ替わった場合
- ・ 受験中に席を離れた場合
- ・ 受験中、ウェブカメラでの撮影画角内に受験者本人が映らず、受験者本人の受験確認および不正行為の検証ができない場合
- ・ 受験者本人以外の声が入った場合
- ・ スマートフォンや携帯電話のカメラを Web カメラの代用とした場合

② カンニング等の不正行為

- ・ カンニング行為
- ・ サングラスなど、カメラから目を隠すようなものを着用した場合
- ・ ヘッドフォン、イヤフォンを装着する、または疑われる行為を行った場合
- ・ 受験中にマウスのクリックボタンまたはそれに該当するボタン以外に触れた場合
- ・ 日経 TEST の公式サイトや、受験システム(Excert)を開いた Google Chrome 以外の Web サイト、アプリケ

ーション、プログラム、ソフトウェアを起動や閲覧等した場合

- ・受験中に他人に話しかけた場合（挨拶や短いやり取りなど内容に関わらず、他人に話しかけることは禁止）
- ・受験中に他人から話しかけられた場合
- ・受験中に携帯電話及びその他の電子機器を使用した場合
- ・受験者の目に触れる位置に、試験内容に関連する掲示物が貼付又は置いてあった場合
- ・受験中飲食した場合（ただし、必要最低限の水分補給として、ラベルのない透明なペットボトルに入れた水のみ飲用可。その他の容器の利用、水以外の飲料は不可）
- ・受験中に喫煙した場合
- ・その他、不正行為が行われていると疑われる行為を行った場合
- ・ノートやペンなどの筆記用具を机の上など手の届く範囲に置いていた場合

③ 試験内容の保存および保存したとみなされる行為

- ・テストの説明・問題にかかわる画面や内容を保存・印刷・配信する行為
- ・キャプチャーやスクリーンショットをとる
- ・画面保存ソフトやアプリを使用して画面を保存する
- ・ビデオやカメラ等で撮影する
- ・メモを取る
- ・口述して録音する
- ・受験用 PC に外付けモニター配信用機材などの外部機器を付けている場合（マウスなどのポインティングデバイスは除く）
- ・その他何らかの手段により保存・記録をしようとするすべての行為

④ 試験内容の漏洩および漏洩したとみなされる行為

- ・テストに関わるすべての情報を対象に、その一部でも、第三者に開示する行為
- ・紙・メモ・写真・動画・インターネット上のアプリケーションなどの媒体を通じて、第三者が閲覧可能な状態、もしくは内容を類推できる状態にすること
- ・口頭での発話・録音などを通じて、第三者が問題の内容を知りえる状態または類推できる状態にすること
（例）「日経 TEST を受験した」ことを SNS に書き込むのは構いませんが、「●●の問題は難しかった」など出題内容を類推させうる書き込みは禁止します。

⑤ 複数のアカウントを作成する行為

同一人物が、複数のアカウントを持つことは禁止します。試験の種類（全国一斉試験、テストセンター試験、企業・団体試験等の種類）に関わらず、必ず同一アカウントを使って申込および受験してください。

⑥ 試験監督官の指示に従わない行為

⑦ その他、上記に準じる全ての行為

2022年12月10日

日本経済新聞社